

< 福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ >
(3月12日 午後9時現在)

平成 23 年 3 月 12 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しております。

1号機（停止中）

- ・原子炉は停止しておりますが、本日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生したことから、現在、調査中です。なお、その際4名の負傷者が発生し、病院に搬送しています。
- ・また、原子炉への海水の注入を開始し、その後、海水に中性子を吸収するホウ酸を混ぜて原子炉への注入を行っている。

2号機（停止中）

- ・原子炉は停止し、原子炉隔離時冷却系も停止しており、現在、原子炉水位は通常より低いものの安定しております。なお、国の指示により、安全を十分確認した上で、原子炉格納容器内の圧力を降下させる操作の準備を行っています。

3号機（停止中）

- ・原子炉は停止し、高圧注水系で原子炉に注水をしております。なお、国の指示により、安全を十分確認した上で、原子炉格納容器内の圧力を降下させる操作の準備を行っています。
- ・現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。

4号機（定期検査で停止中）

- ・原子炉は停止しており、安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。

5号機（定期検査で停止中）

- ・原子炉は停止しており、安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。

6号機（定期検査で停止中）

- ・原子炉は停止しており、安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。

その他

- ・現在、1号機の原子炉格納容器の圧力を降下させる操作を実施しておりますが、原子炉

建屋内で作業していた当社社員1名の線量が100mSvを超過しております(106.3mSv)。産業医が不在のため、後日診断することとしておりましたが、その後、体調不良を訴えたことから、オフサイトセンターの専門医の診断を受けました。

- ・モニタリングカーによる発電所構内(屋外)の放射性物質(ヨウ素等)の測定の値が通常値より上昇しております。また、モニタリングポストの測定値も通常値より上昇しております。

引き続き、排気筒や放水口等からの放射性物質の放出の可能性について詳細に監視してまいります。

なお、放射性物質が放出される恐れがあるため、国から、半径20km以内の地域住民に対して避難指示が出されています。

- ・発電所構内においてけが人(協力企業)2名が発生しており、そのうち1名(骨折)は救急車、もう1名については業務車にて病院に搬送いたしました。

また、当社社員の1名は左胸を押さえて立てない状態であったため、救急車にて病院に搬送いたしました。

また、当社社員のうち2名が現場において、所在の確認ができておりません。

さらに免震重要棟近傍にいた協力企業作業員1名が意識がないため、救急車で病院へ搬送しました。

- ・安全の確保に向け全力を尽くしてまいるとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります

以 上